

2025年春

木村はこれまでの  
様々な出来事を  
思い返していた



木村情報技術 代表取締役  
木村隆夫

2005年  
自宅で登記し  
妻・木村敦子と  
起業するも

登記完了



売上が上がらず  
資金も  
底を突いたこと



残金…ゼロ…

3900万円  
赤字…

どうしよう…



木村社長  
我々を…

退職させて  
ください!!

社員に  
「辞めさせて  
ください」と頭を  
下げられたこと



銀行にお金を  
借りられず  
首を横に  
振り続けられた日々



これ以上は  
無理です…  
何とか  
頑張ってください

この状態では  
正直どこからも  
借りられないと  
思いますよ…



辛いことも  
色々  
ありましたね…

持ち家も  
売り払う覚悟で  
出社したあの日

様々な苦境が  
ありながらも  
会社を続けてくる  
ことができた

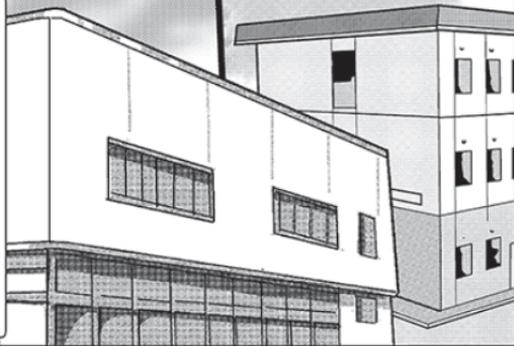
土曜日に  
たまたま出社した際に  
受けた電話をきっかけに  
事業は上向き始め



赤字続きから  
初めて黒字化した時は  
社員に賞与を  
現金で渡すこともできた



自宅の2Fから  
佐賀県地域産業  
支援センターへ移転し



その4年後には  
佐賀市内に  
自社の社屋を持った

最初の東京支店は  
恵比寿のマンションの  
一室だったが



今や日本各所に  
支店だけではなく  
11のスタジオを  
持つまでになった



Web会議システムから  
始まったサービスも

インターネット会  
3e 3eConfe  
スリーイーカンフ

Web講演会配信で  
医療業界No.1の  
シェアとなり



2016年の  
AI事業への  
新規参画から  
会社の柱と  
言える  
事業にまで  
成長した



数々の  
スポーツを  
支援し

プロ・アマ含め  
多くのチームと  
スポンサー契約を  
結ぶまでになった



起業当初を  
思い返しながら

投資……  
非常にあり

この時既にK1Tの  
状況は限界だった

借自  
た

新たなことに  
挑戦して  
いかねばですね

まだまだ  
これからも

キャピタルが  
系列の佐賀銀行が  
支援しないわけには  
いかないでしょうね

更なる成長と  
進化を決意する  
木村であつた